

第1学年 国語科学習指導案

1 単元 くらべて よもう「じどう車くらべ」

2 学習指導の考え方

このような子どもたちだから

本学級の子どもたちは、1学期に説明文教材「くちばし」で、写真から読み取ったくちばしの様子を叙述とつないで読んだり、読み取る学習をしてきた。その活動を通してさし絵からわかったことと同じようなことを叙述から探し、そのことばの意味を考える読み方（挿絵とことばをつないで読む）を教師主導ではあるが少しずつ身につけてきた。また、叙述を似た言葉と比べたり言葉ははずしたりして読む活動も少しずつ行っているが、子どもたちの中に「読みのカギを使った」という意識はまだない。本単元が、読み方を意識させる初めての単元となる。

このような教材で

本教材は、次のような特質をもっている。

- ・ 子どもたちの関心の高い自動車を題材にその仕事とつくりをを「仕事」→「そのために」「つくり1」「つくり2」という簡単な構成の文章で説明している。
- ・ 「バスやじょうよう車」→「トラック」→「クレーン車」と、子どもたちに身近な順に並べられた3つの事例を比べて読むことで、それぞれの仕事しやすいようにつくりになっていることに気づくことができる。
- ・ 説明の文章が「じどう車の仕事」と「じどう車のつくり」を「そのために」という接続語でつないで関係を表している。こうした特質をふまえて、本教材で習得する読み方を次のように考えた。

- 挿絵とことばをつないで読む
 - ・ 挿絵からどこが「にだい」かを確認した後で、荷台が広くて平らなことに気づかせる。その上で、「荷台が広いと、荷物を運ぶときにどんないいことがあるのか」を問い返すことで、一度にたくさん荷物を運ぶのに必要な「つくり」であることを気づかせる。
- ことばをはずして読む
 - ・ 「ぎせきのところ」をはずして読むことで、人が乗れる部分（面積）が広いつくりになっていることに気づかせる。
- 似たことばと比べて読む
 - ・ 「つり上げる」と「もち上げる」を比べて読む。
- 事柄を比べて読む
 - ・ バスの「ぎせきのところ」がひろくなっています」とトラックの「うんてんせきのほかは、ひろいにだいでいます」を比べて、バスは人を運ぶ仕事だから人が乗るところ（ぎせき）が広いけれど、トラックは荷物を運ぶ仕事だから、荷物を載せるところ（にだい）が広いことに気づかせる。

このような指導・支援を行いながら

どの子も先を読みたいという意欲をもって内容を読み取れるように、次のような指導・支援を行う。

- 読みのめあてをつくる過程
 - ・ 単元の導入で、ミニカーで遊ばせることで、自動車についての興味、関心を高める。また、自分の遊んだミニカーについて話させることで、ミニカーの仕事や形への意識をもたせる。
 - ・ 「そのために」という叙述に着目させ、「しごとがしやすいようにどのようなつくりになっているのかな」という疑問をもたせる。
- 答えを話し合い、学習計画を立てる過程
 - ・ 全文を音読する際に句読点を意識させることで、どの子もすらすら読めるようにする。
 - ・ 出てきた順に挿絵（写真）を並べ替える活動を通して、事例の順序をとらえさせる。
 - ・ 全文の仕事とつくりがわかる場所に色分けして線をひかせ、「しごと」→「そのために（仕事しやすいように）」→「つくり1」「つくり2」という文章構成になっていることをとらえさせる。
 - ・ 見つけた「つくり」の部分でよくわからないことや、もっと知りたいことを話し合い、読み確かめる計画を立てる。
- 読み確かめる過程
 - ・ それぞれの自動車が仕事をしやすいつくりになっているかどうかを挿絵で確かめながら読み確かめていく。その際に、「そのつくりになっていると、どんなふうにして仕事しやすいのか」をほかの自動車と比べながら考えさせる。
 - ・ 学習したことを掲示物で残していくことで、前の事例と比べながら読めるようにする。
 - ・ 必要に応じて、動作化させることで、書かれていることを正しく読み取れるようにする。
 - ・ 子どもたちが叙述と読み取ったことを板書で整理し、学習でくわしくなったことがわかるようにする。
 - ・ 読み取ったことを線でつないだり、花丸をはったりすることで、どの子も読み取ったことを簡単にかきまとめられるようにする。
- 読みのまとめをする過程
 - ・ 掲示物を使って3つの事例をふりかえり、それぞれの自動車は仕事をしやすいようにつくりになっていることに気づかせる。
 - ・ もう一度、ミニカーで遊び、自分が遊んだ自動車の図鑑を書くという活動を通して、いろいろな自動車がそれぞれの仕事にぴったりのつくりになっていることに気づかせる。

このような目標を設定して学習指導を展開します。

- バスやじょうよう車、トラック、クレーン車がどんな仕事をし、その仕事しやすいようになつくりになっているかを読み取り、それぞれの自動車が仕事をしやすいつくりになっていることに気づくことができる。
- それぞれの自動車の仕事とつくりを読み取るために、ことばをはずして読む、似たことばと比べて読む、事柄を比べて読むという読み方を身につけることができる。
- 好きな自動車の絵本や図鑑を読み、教科書の文型を使って「しごと」にあった「つくり」になっていることを「そのために」という接続語を使って書きまとめることができる。

3 指導計画（全14時間）

過程	時	学習活動と内容	指導上の留意点 ○読みの手立て ☆書く活動 (読みのカギ)
読みのめあてをつくる	1	1 ミニカーで遊ぶ。 2 自分の好きな車について自慢し合う。	○ いろいろな種類のミニカーを準備し、できるだけたくさんの種類の自動車にふれられるようにする。 ○ ①どんな自動車か、②どこが鋤なのかの2点で自慢し合い、それぞれの自動車の仕事や形に関心がもてるようにする。 ○ 自慢し合った感想を話させる中で、いろいろな種類の自動車があることや、みんな形やすることが違うことを意識させる。
	1	1 題名を読む。 ○ いろいろなことをする自動車がいる。 ○ 形や、大きさが違う。 ○ 自動車の何を比べるのかな。 2 題名でもった疑問をもとに冒頭を読む。 ○ 「しごと」と「つくり」を比べる。 ○ しごとがしやすいようにつくりがあるんだな。 3 題名と冒頭をつないで読みのめあてをつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 読みのめあて それぞれのじどう車はどんなしごとをしているのかな。そのしごとがしやすいように、どんなつくりになっているのかな。 </div>	○ 前時学習を想起させた後で、自動車について自分が知っていることを発表させる。 ○ 「どんなことをくらべるのか」を問い返すことで、車どうしの違いに目を向けさせる。 ○ 問いの文に着目させ、「しごと」と「つくり」を比べることに気づかせる。 ○ 比べることを抜いたプリントを準備し、言葉を書き込ませることで、どの子も「しごと」と「つくり」を比べることを確認できるようにする。 ○ 具体例をあげて「つくり」という言葉の意味を理解させた後で、「そのために」に着目させ、「しごとがしやすいようなつくり」になっていることに気づかせる。
答えを話し合い 学習計画	1	1 全文を音読する。	○ 全文を音読する際に句読点を意識させることで、どの子もすらすら読めるようにする。 ○ 「しごと」と「つくり」がどこに書いてあるか、意識しながら読ませる。
	2	1 文章構成をつかむ ○ 3つのじどう車が出てくる ○ バスやじょうよう車→トラック→クレーン車の順で書かれている。 2 それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を大まかにつかむ。	○ 出てきた順に挿絵を並べ替える活動を通して、事柄の順序をとらえさせる。 ○ 「しごと」と「つくり」が書かれているところに色分けして線を引かせる。(仕事：赤、つくり：青)

を
立
て
る

- 冒頭を想起させ、「そのために」という言葉の後に「つくり」が書かれていることを確認し、どの子も「つくり」が見つけられるようにする。
- 見つけた「つくり」には番号をつけさせ、それぞれ2つずつ「つくり」が書かれていることに気づかせる。

読みのめあての答え

- バスやじょうよう車
 - ・ひとをのせてはこぶじごと
 - ・ぎせきのところがひろくつくってある。
 - ・大きなまどがたくさんある。
- トラック
 - ・にもつをはこぶしごと
 - ・うんてんせきのほかは、ひろいにだいになっている。
 - ・タイヤがたくさんついている。
- クレーン車
 - ・おもいものをつり上げるしごと
 - ・じょうぶなうでが、のびたりうごいたりする。
 - ・しっかりしたあしが、ついている。

3 「しごとがしやすいためのつくり」でよくわからないことやもっとしりたいことを話し合い、読み確かめる計画を立てる。

- 不確かな点を問い返ししながら、もっと知りたいことを発表させ、読み確かめる計画を子どもたちと一緒に立てる。

読み確かめたいこと

- バスやじょうよう車
 - ・ぎせきのところがひろくつくってあると、どんないいことがあるのか。
 - ・大きなまどがたくさんあるのは、どうしてか。
- トラック
 - ・うんてんせきのほかは、ひろいにだいになっていると、どんないいことがあるのか。
 - ・タイヤがたくさんついているのは、どうしてか。
- クレーン車
 - ・じょうぶなうでが、のびたりうごいたりすると、どんないいことがあるのか。
 - ・しっかりしたあしがついているのは、どうしてか。

読
み
確
か
め
る

- 1 ◎ 学習計画をもとに、バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」について読み確かめる。
- 1 バスやじょうよう車の「しごと」について話し合う。
- どこかにいくとき、バスやじょうよう車にのる。
→ひとをのせてはこぶ。

- 挿絵を使って「じょうよう車」とはどんな車かを理解させる。
- バスやじょうよう車にのったときの経験を話させ、それを「ひとをのせてはこぶ」という叙述とつなぐことで、バスやじょうよう車の仕

	<p>○ バスはたくさんのひとがのれる。 →たくさんのひとをのせてはこぶ</p> <p>○ じょうよう車は、みんなのうちにある車。 →おうちのひとをのせてはこぶ。</p> <p>2 バスやじょうよう車の「つくり」について話し合う。</p> <p>○ ざせきのところがひろくつくってある。 ・のるひとがきもちいい。 ・たくさんのひとがのれる。</p> <p>○ 大きなまどがたくさんある。 ・そとのけしきがよく見えるように ・のっているひとがたのしい ・どこでおりのかわかる</p> <p>3 わかったことを書きまとめる。</p>	<p>事を理解させる。</p> <p>○ 「<u>ざせきのところ</u>」をはずして読み、すわる ところやせもたれのところなど、座席周辺がひろくつくってあることに気づかせる。 (ことばをはずして読む)</p> <p>○ トラックやクレーン車の挿絵と比べさせ、人が乗るスペースがひろく作ってあることにも気づかせる。</p> <p>○ 「ざせきのところがひろくつくってある」と「ひとをのせてはこぶ」ときにどんないいことがあるのかを問い返すことで、人を気持ちよく運ぶためや一度に多くの人を運ぶために必要な「つくり」であることに気づかせる。</p> <p>○ 「～ように」ということばに着目させて、「そとのけしきがよく見えるように」という大きなまどがたくさんある理由を見つけさせる。その上で、「人を乗せて運ぶときに、外の景色がよく見えたらどんないいことがあるか」を問い返すことで、乗る人が快適で便利に乗るための「つくり」であることに気づかせる。</p> <p>☆ 大切な事柄に花丸をはり、どの子もよみとったことを書きまとめられるようにする。 ☆ 空欄を埋める穴埋め形式のワークシートを準備する。</p>
<p>1 本 時</p>	<p>◎ 学習計画をもとに、トラックの「しごと」と「つくり」について読み確かめる。</p> <p>1 トラックの「しごと」について話し合う。</p> <p>○ にもつをはこぶ。 ・すなやいしをはこんでいた ・きゅうしょくのパンをとどけてくれる ・たつきゅうびんをはこんでいた ・大きいとらっくやちいさいトラックがいる。</p> <p>2 トラックの「つくり」について話し合う。</p> <p>○ うんてんせきのほかは、ひろいにだいになっている。 ・いちどにたくさんのにもつをはこべる。 ・大きなにもつがはこべる。</p>	<p>○ 荷物を運んでいるトラックを見たときのことを発表させ、それを「にもつをはこぶ」という叙述とつなぐことで、いろいろな種類、重さ、大きさの荷物を運ぶ仕事をするトラックがいることに気づかせる。</p> <p>○ 挿絵からどこが「にだい」かを確認した後で、自分の家の車（じょうよう車）と比べさせることで、トラックの荷台が広くて平らなことに気づかせる。その上で、「荷台が広いと、荷物を運ぶときにどんないいことがあるのか」を問いかえすことで、一度にたくさんの荷物を運ぶのに必要な「つくり」であることに気づかせる。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・にもつをのせやすい。 ○ タイヤがたくさんついている。 ・にもつをちゃんとはこぶことができる。 ・にもつがこわれない <p>3 わかったことを書きまとめる。</p>	<p style="text-align: center;">(挿絵とことばをつないで読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挿絵を使ってタイヤがたくさんついているかどうかを確認する。そして、「おもいにもつ」とはどんな荷物かを想像させたあとで、「重い荷物を運ぶときに、タイヤがたくさんついているとどんないいことがあるのだろう」と問い返すことで、荷物を大切に確実に運ぶための「つくり」であることに気づかせる。 ☆ 大切な事柄に花丸をはり、どの子もよみとったことを書きまとめられるようにする。 ☆ 空欄を埋める穴埋め形式のワークシートを準備する。
<p>1 ◎ 学習計画をもとに、クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み確かめる。</p> <p>1 クレーン車の「しごと」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おもいものをつり上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ビルをたてるところでしごとをしていた ・大きなたつのぼうをあげていた ・てつのひもみたいなものをフックにひっかけてあげていた ・フックがあがったり下がったりしておもいものを上げる <p>2 クレーン車の「つくり」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ じょうぶなうでがのびたりうごいたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・のびたりうごいたりすると、おもいものをたかいところやちがうばしょにもっていける。 ・じょうぶなうでだったら、あぶなくないようにつりあげられる。 ○ しっかりしたあしがついている。 <ul style="list-style-type: none"> ・車たいがかたむかないように。 ・おもいものをつりあげるから、車たいがかたむくと、じこになる。 ・あぶなくないようにあしがついている。 <p>3 わかったことを書きまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ クレーン車を見たときのことを発表させ、それを「おもいものをつり上げる」という叙述とつなぐことで、高いところに重い物を動かす仕事であることに気づかせる。 ○ クレーン車を見たことがないときは、クレーン車が動く様子を映像で見せ、気づいたことを発表させる。 ○ 「もち上げる」と「つり上げる」を動作化で比べさせ、それを言葉で説明させることで、クレーン車の仕事を確かにつかませる。 <p style="text-align: center;">(にたことばと比べて読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挿絵からどこが「うで」かを確認した後で、「どんなところがじょうぶか」気づいたことを発表させる。また、「のびたりうごきたいする」様子を動作化させることで、クレーン車のうでが動く様子を想像させる。その上で、「うでがじょうぶだったりのびたりうごいたりすると、おもいものをつりあげるときにどんないいことがあるのか」を問いかえすことで、おもいものを安全に、簡単に移動させるのに必要な「つくり」であることに気づかせる。 ○ 挿絵を使って「しっかりしたあし」とはどれかを確認する。さらにタイヤが浮いていることに気づかせる。その上で、「重い物をつりあげるときに、もししっかりしたあしがついていなかったらどうなるのだろう」と問い返すことで、重い物を確実に安全につりあげるための「つくり」であることに気づかせる。 ☆ 大切な事柄に花丸をはり、どの子もよみとったことを書きまとめられるようにする。

		☆ 空欄を埋める穴埋め形式のワークシートを準備する。
読みと読み方のまとめをする	1	◎ 読みと読み方のまとめをする。 1 それぞれの自動車について読み確かめてきたことをふりかえる。
		○ 3つの自動車の仕事とつくりの関係を振り返り、それぞれ仕事をしやすいようにつくりが違っていることに気づかせる。
		<p>読みのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バスやじょうよう車は、ひとをのせてはこぶから、のるひとがきもちよくのれるようなつくりになっていた。 ○ トラックは、にもつをはこぶから、いちどにたくさんのにもつがはこびやすいようなつくりになっていた。 ○ クレーン車は、おもいものをつりあげるから、あぶなくないようにつりあげらるようなつくりになっていた。 ○ みんな、しごとがしやすいようなつくりになっている。
	2	読み方のまとめをする。
		○ 読みのカギの掲示物を使って、どんな読みのカギを使ったか、振り返る。
	1	3 はしご車の「しごと」と「つくり」を説明する文を書く。
		○ 掲示物を使って、「しごと」→「そのために」→「つくり1」→「～ように」→「つくり2」という文型を確認し、みんなで一緒に文を考えていく。その際に、文を書く手順を掲示物として残し、後で自分の説明文を書く際の手がかり
		<p>はしご車の説明文</p> <p>はしご車は、かじのときにたかいところにいるひとをたすけるしごとをしています。</p> <p>そのために、じょうぶなはしごがのびたりちぢんだりします。</p> <p>たすけたひとをのせられるように、はしごのさきにかごがついています。</p>
発展	4	1 ミニカーで遊び、自分が自慢したい車を選ぶ。 2 自分が選んだ車について調べる。 ○ どんな「しごと」をするのか。 ○ そのために、どんな「つくり」になっているのか。 3 説明文を書く。 4 書いた説明文を読み合う。
		○ どんな「しごと」をする車があるのかを確かめながら遊ばせるようにする。 ○ あらかじめ、さまざまな自動車の「しごと」と「つくり」が調べられるように、図書館司書の先生と連携して本を準備しておく。 ○ はしご車のときにつくった「説明文を書く手順」の掲示物を提示し、どの子も自分なりの説明文が書けるようにする。

5 本時目標

- トラックは荷物を運ぶ仕事をするために、運転席の他は広い荷台になっていることや、重い荷物を運ぶトラックには、タイヤがたくさんついていることを読み取り、荷物を運ぶ「しごと」がしやすいような「つくり」になっていることに気づくことができる。
- トラックの「しごと」と「つくり」を読むために、挿絵とことばをつないで読む、事柄を比べて読む読み方を身につけることができる。

6 本時指導の考え方

こんな子どもたちに
前時までに子どもたちはバスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」を読み確かめてきている。その学習を通して、バスやじょうよう車は、人を乗せて運ぶ仕事しやすいような「つくり」になっていることに気づいている。学習の終末には板書を使って簡単な言葉を空欄に埋めて学習したことを書きまとめることができる。

こんな支援で
①読み確かめさせるために
○トラックの「しごと」を読み確かめるために
・トラックが何かを運んでいるところを見た経験を発表させることで、トラックが運ぶ「にもつ」について具体的に思い描かせる。
○トラックの「つくり」を読み確かめるために
・挿絵から「ひろいにだい」についてわかることを発表させた後で、バスやじょうよう車の「つくり」と比べさせて問い返しを行う。
・「おもいにもつ」について具体的に思い描かせたあとで、問い返しを行う。
②書きまとめさせるために
○空欄を埋める形式のワークシート
○まとめにつながる大切な読み取りに花丸をはる。

こんな姿に
①読み確かめで
○トラックの「しごと」
いろいろな種類や大きさ、重さの荷物を運ぶ仕事であることに気づいている。
○トラックの「つくり」
・トラックの荷台が広いのは、一度にたくさんの荷物はこべるようにであることに気づいている。
・重い荷物を運ぶトラックには、タイヤがたくさんついているのは、荷物を確実に運べるようにであることに気づいている。
②書きまとめで
トラックの「しごと」と「つくり」について板書をもとに書きまとめている。

7 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">トラックの「しごと」と「つくり」を、くわしくよもう。</p> </div>	<p>○ 掲示物を使って前時までを想起させた後で、トラックの「しごと」と「つくり」について詳しく読むことを確認する。</p>
<p>(2) 本時場面を音読する。</p> <p>2 トラックの「しごと」と「つくり」について読み取る。</p> <p>(1) トラックの「しごと」について話し合う。</p> <p>○ にもつをはこぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すなやいしをはこんでいた ・きゅうしょくのパンをとどけてくれる ・たつきゅうびんをはこんでいた ・大きいトラックやちいさいトラックがいる。 <p>(2) トラックの「つくり」について話し合う。</p> <p>○ うんてんせきのほかは、ひろいにだいになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちどにたくさんのにもつをはこべる。 ・大きなにもつがはこべる。 ・にもつをのせやすい。 <p>○ タイヤがたくさんついている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にもつをちゃんとはこぶことができる。 ・にもつがこわれない <p>3 わかったことを書きまとめる。</p>	<p>○ 句読点を意識して読ませる。</p> <p>○ 荷物を運んでいるトラックを見たときのことを発表させ、それを「にもつをはこぶ」という叙述とつなぐことで、いろいろな種類、重さ、大きさの荷物を運ぶ仕事をするトラックがいることに気づかせる。</p> <p>○ 挿絵からどこが「にだい」かを確認した後で、バスやじょうよう車と比べさせることで、トラックの荷台が広くて平らなことに気づかせる。その上で、「荷台が広いと、荷物を運ぶときにどんないいことがあるのか」を問い返すことで、一度にたくさんの荷物を運ぶのに必要な「つくり」であることに気づかせる。</p> <p style="text-align: center;">(挿絵とことばをつないで読む、 事柄を比べて読む)</p> <p>○ 挿絵を使ってタイヤがたくさんついているかどうかを確認する。そして、「おもいにもつ」とはどんな荷物かを想像させたあとで、「重い荷物を運ぶときに、タイヤがたくさんついているとどんないいことがあるのだろうか」と問い返すことで、荷物を大切に確実に運ぶための「つくり」であることに気づかせる。</p> <p>☆ 大切な事柄に花丸をはり、どの子もよみとったことを書きまとめられるようにする。</p> <p>☆ 書き出しを与えたワークシートを準備する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">まとめ</p> <p>トラックは、いろいろなしゅるいや大きさのにもつをはこぶしごとをしているよ。 にもつをいちどにたくさんはこべるように、ひろいにだいになっているよ。おもいにもつをはこぶトラックには、にもつをちゃんとはこべるようにタイヤがたくさんついているよ。</p> </div>	